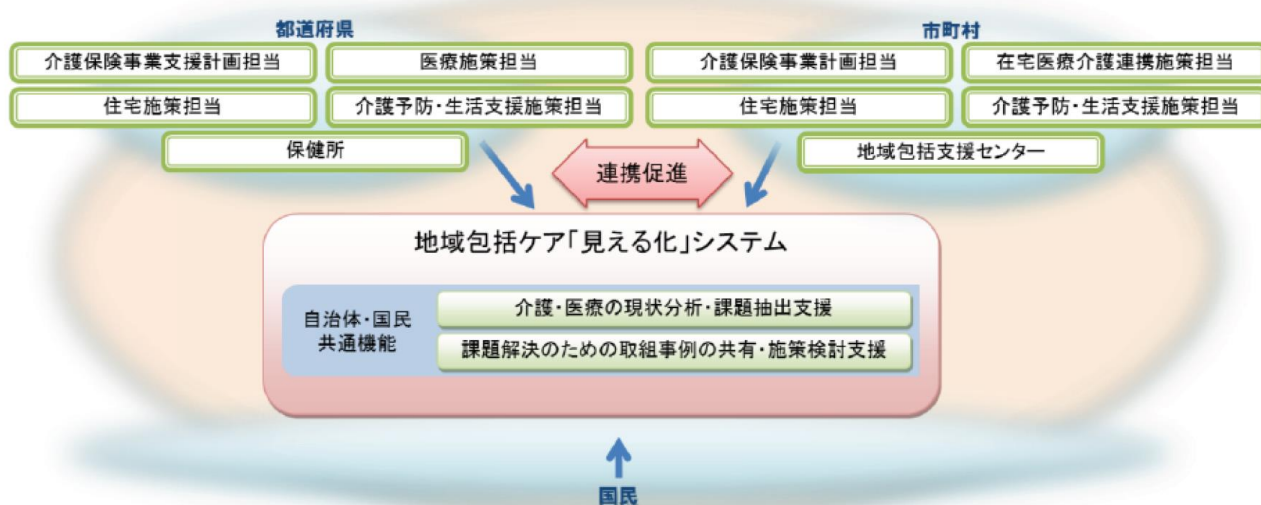


# 十和田市介護保険事業の特徴

本市の介護保険事業について包括ケア「見える化」システムにより、全国、青森県及び人口規模の類似団体と比較し、本市の特徴分析を実施しました。

## 1. 見える化システムについて

地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における介護保険事業（支援）計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムです。

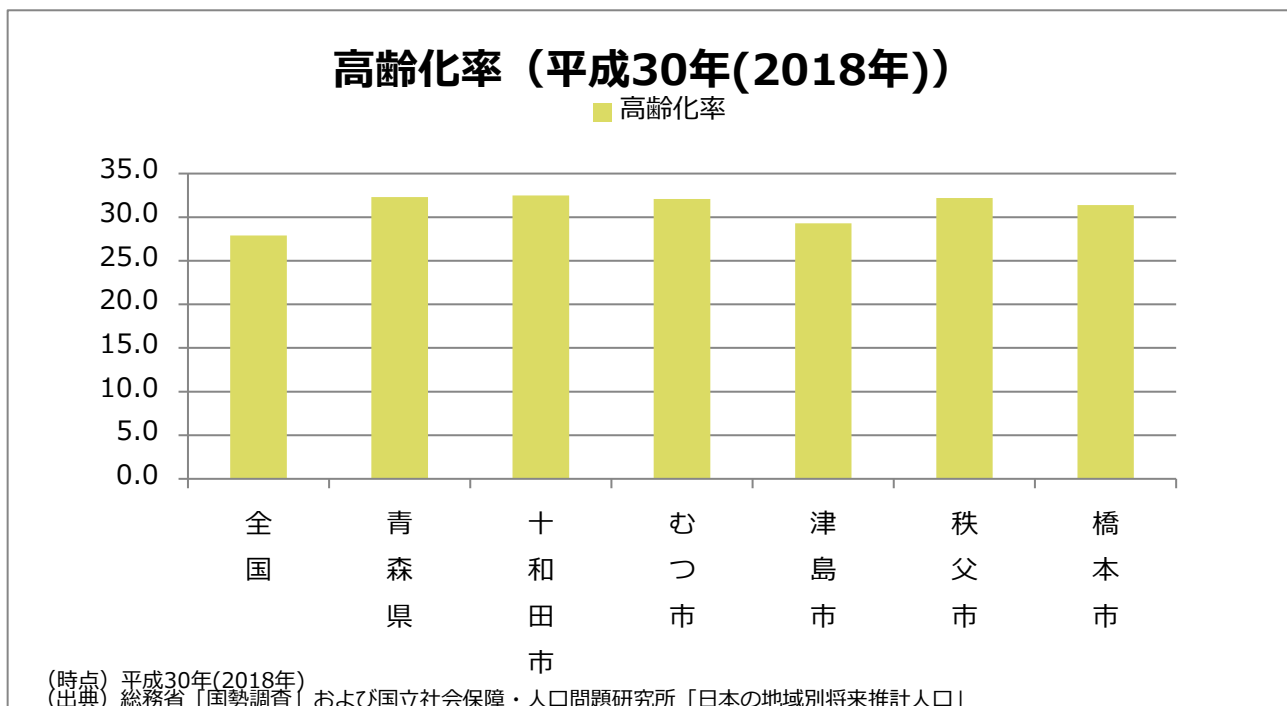


## 2. 比較団体

区分	人口（人）	行政区域面積（km <sup>2</sup> ）
全国	127,709,745	377,970.75
青森県	1,308,265	9,645.59
青森県十和田市	63,429	725.65
青森県むつ市	58,493	864.16
愛知県津島市	63,555	25.09
埼玉県秩父市	63,555	577.83
和歌山県橋本市	63,621	130.55

※人口及び行政区域面積：平成 27 年国政調査より

### 3-1. 高齢化率 他団体比較

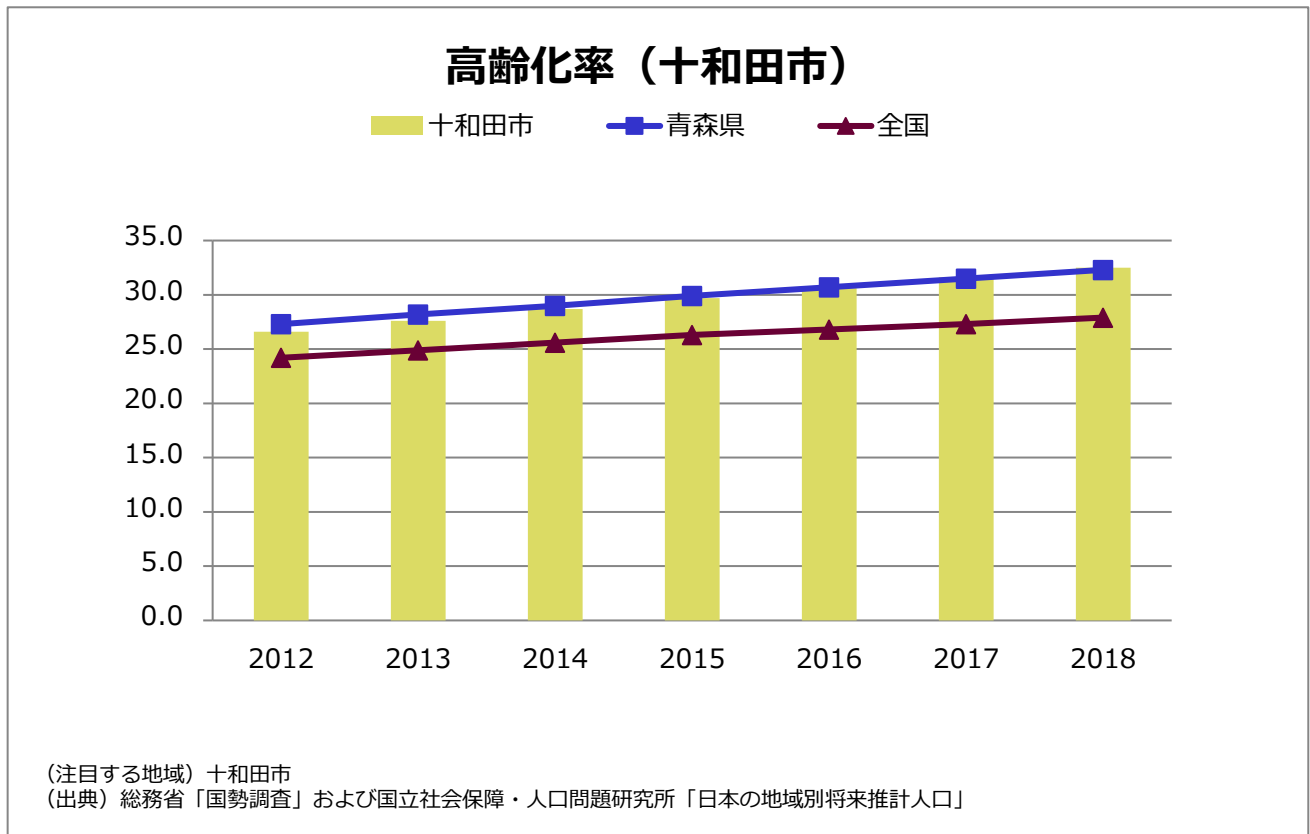


		全国	青森県	十和田市	むつ市	津島市	秩父市	橋本市
総人口	(人)	-	1,264,897	61,705	56,757	61,985	61,263	61,739
高齢化率	(%)	27.9	32.3	32.5	32.1	29.3	32.2	31.4
高齢者数	(人)	35,101,045	408,397	20,080	18,222	18,179	19,755	19,410

平成30年（2018年）における高齢化率を見ると、本市は、全国と比較して、4.6ポイント高く、青森県と比較して、0.2ポイント高くなっております。

また、人口規模の類似団体と比較すると、本市が最も高く、ついで秩父市及びむつ市となっております。

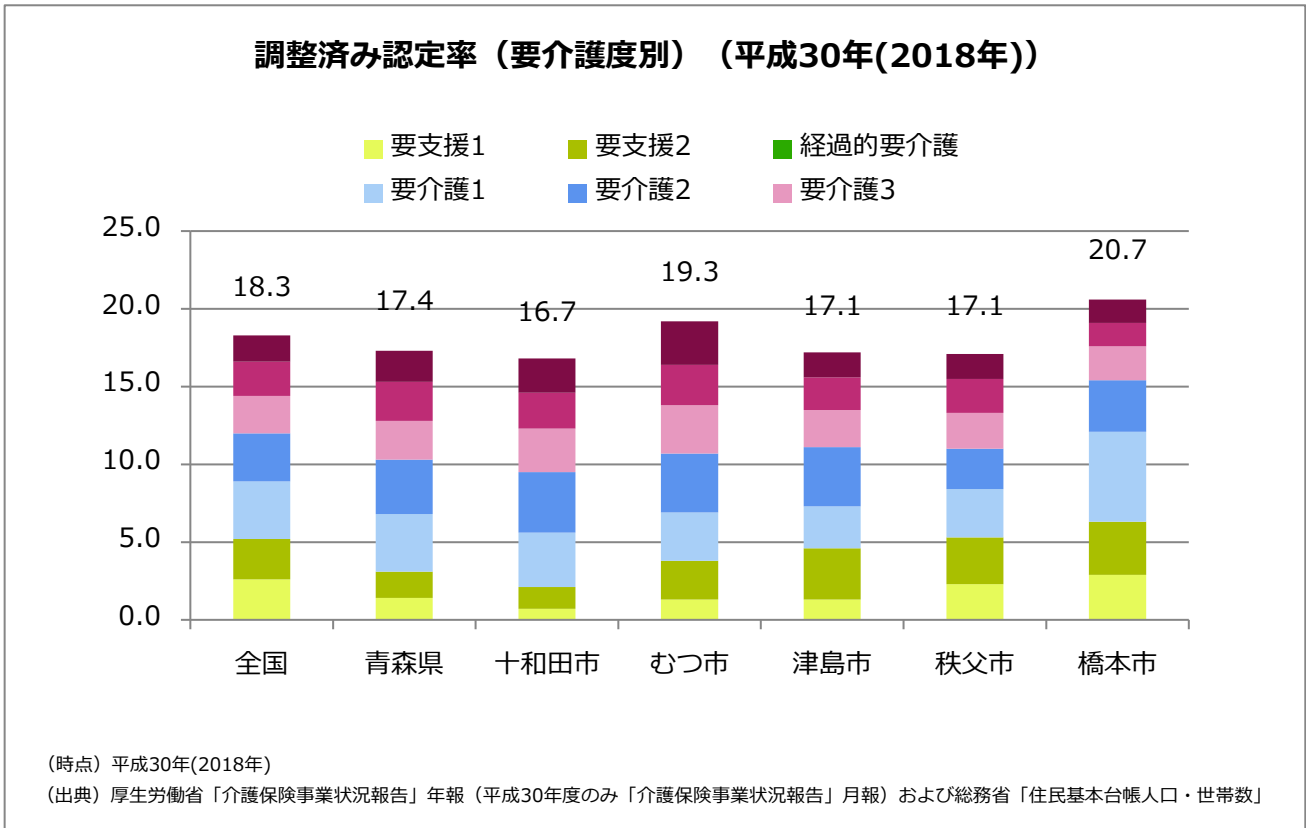
### 3-2. 高齢化率 時系列



		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
十和田市	(%)	26.6	27.6	28.7	29.7	30.6	31.6	32.5
青森県	(%)	27.3	28.2	29.0	29.9	30.7	31.5	32.3
全国	(%)	24.2	24.9	25.6	26.3	26.8	27.3	27.9

2012年から2018年の高齢化率を時系列で見ると、本市、青森県及び全国のいずれも高齢化率は増加しており、2018年と2012年の高齢化率を比較すると、当市は、5.9ポイント、青森県は5.0ポイント、全国は3.7ポイント増加しており、本市は、全国及び青森県と比較して、高齢化率の増加が最も高くなっております。

4-1. 認定率 他団体比較



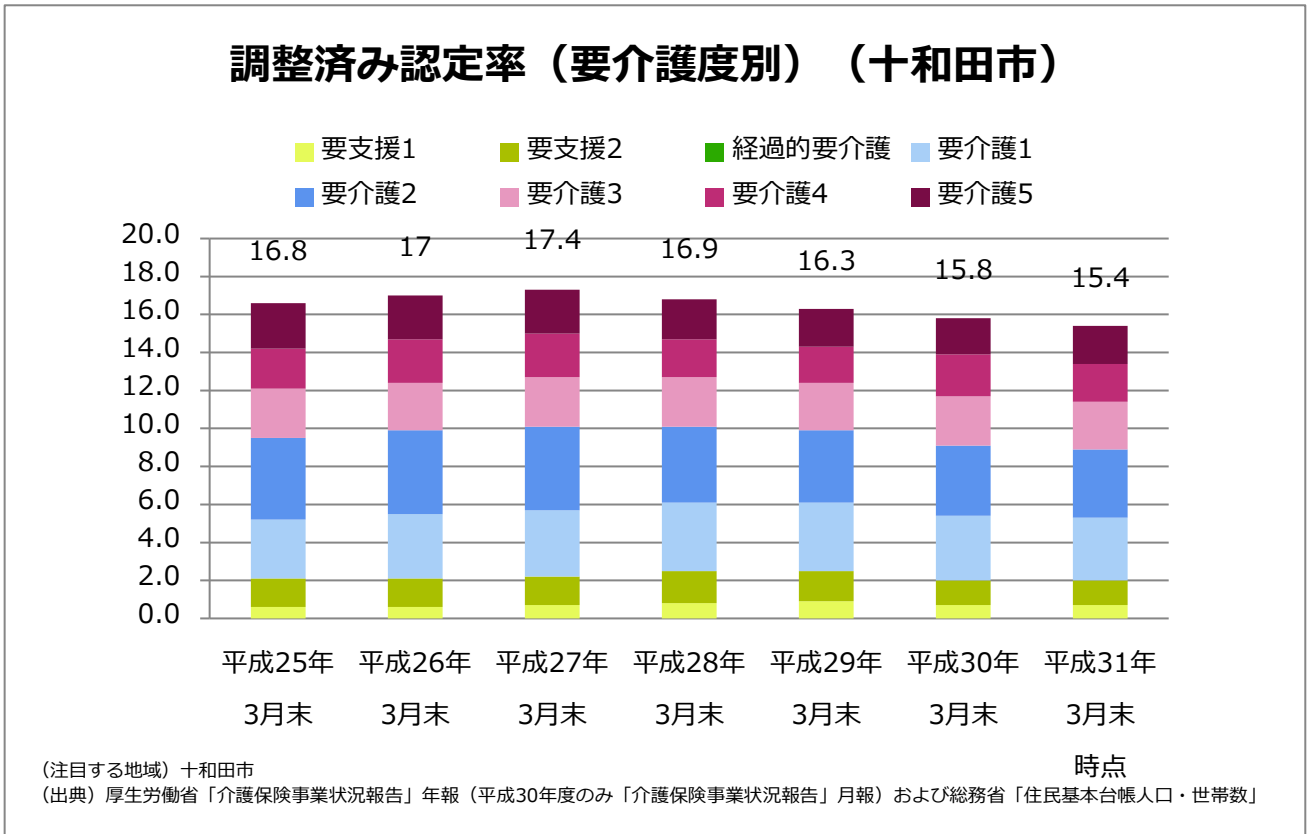
※「調整済み認定率」とは、定率の多寡に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率を意味します。

		全国	青森県	十和田市	むつ市	津島市	秩父市	橋本市
要支援1	(%)	2.6	1.4	0.7	1.3	1.3	2.3	2.9
要支援2	(%)	2.6	1.7	1.4	2.5	3.3	3.0	3.4
経過的要介護	(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要介護1	(%)	3.7	3.7	3.5	3.1	2.7	3.1	5.8
要介護2	(%)	3.1	3.5	3.9	3.8	3.8	2.6	3.3
要介護3	(%)	2.4	2.5	2.8	3.1	2.4	2.3	2.2
要介護4	(%)	2.2	2.5	2.3	2.6	2.1	2.2	1.5
要介護5	(%)	1.7	2.0	2.2	2.8	1.6	1.6	1.5
合計認定率	(%)	18.3	17.4	16.7	19.3	17.1	17.1	20.7

平成30年(2018年)における調整済み認定率(要介護度別)を見ると、本市は、全国と比較して、合計認定率、要支援1, 2及び要介護1は、低いものの、要介護2~5において、高くなっており、青森県と比較した場合にも概ね同様の傾向となっております。

また、人口規模の類似団体と比較すると、本市は、合計認定率及び要支援1, 2についての認定率が最も低いものの、要介護2~5において、概ね高い傾向となっております。

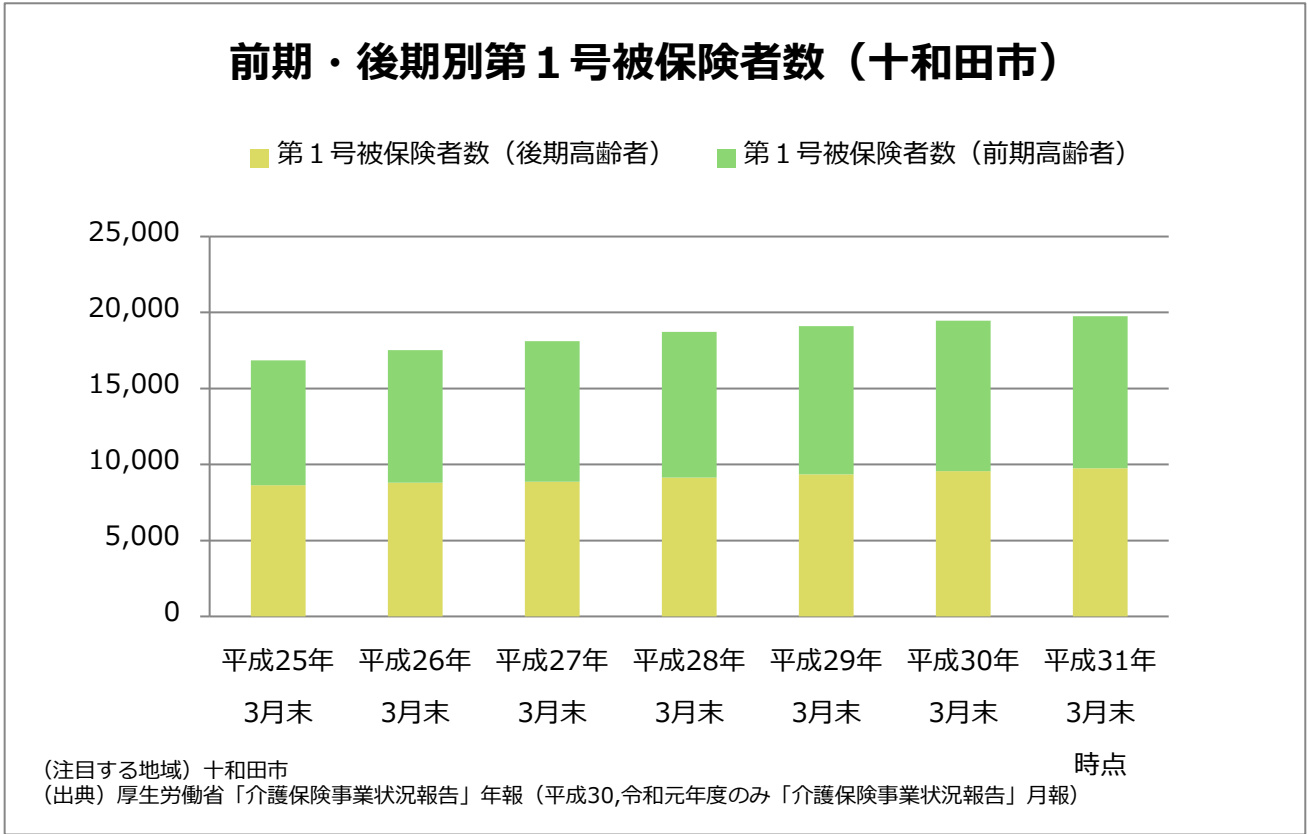
4-2. 認定率 時系列



		平成 25 年 3 月末	平成 26 年 3 月末	平成 27 年 3 月末	平成 28 年 3 月末	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末 時点
要支援 1	(%)	0.6	0.6	0.7	0.8	0.9	0.7	0.7
要支援 2	(%)	1.5	1.5	1.5	1.7	1.6	1.3	1.3
経過的要介護	(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要介護 1	(%)	3.1	3.4	3.5	3.6	3.6	3.4	3.3
要介護 2	(%)	4.3	4.4	4.4	4.0	3.8	3.7	3.6
要介護 3	(%)	2.6	2.5	2.6	2.6	2.5	2.6	2.5
要介護 4	(%)	2.1	2.3	2.3	2.0	1.9	2.2	2.0
要介護 5	(%)	2.4	2.3	2.3	2.1	2.0	1.9	2.0
【時系列①】合計 調整済み認定率	(%)	16.8	17.0	17.4	16.9	16.3	15.8	15.4

平成 25 年 3 月末から平成 31 年 3 月末の調整済み認定率を時系列で見ると、合計認定率においては、平成 27 年 3 月末をピークに年々減少しております。また、平成 27 年 3 月末と平成 31 年 3 月末と比較して、概ねどの区分も減少しておりますが、要介護 2 において最も減少し、0.8 ポイント減少しております。また、要介護 3、4、5 については、減少しているものの変化が少ない状況です。

5-1. 前期・後期別第1号被保険者数 時系列



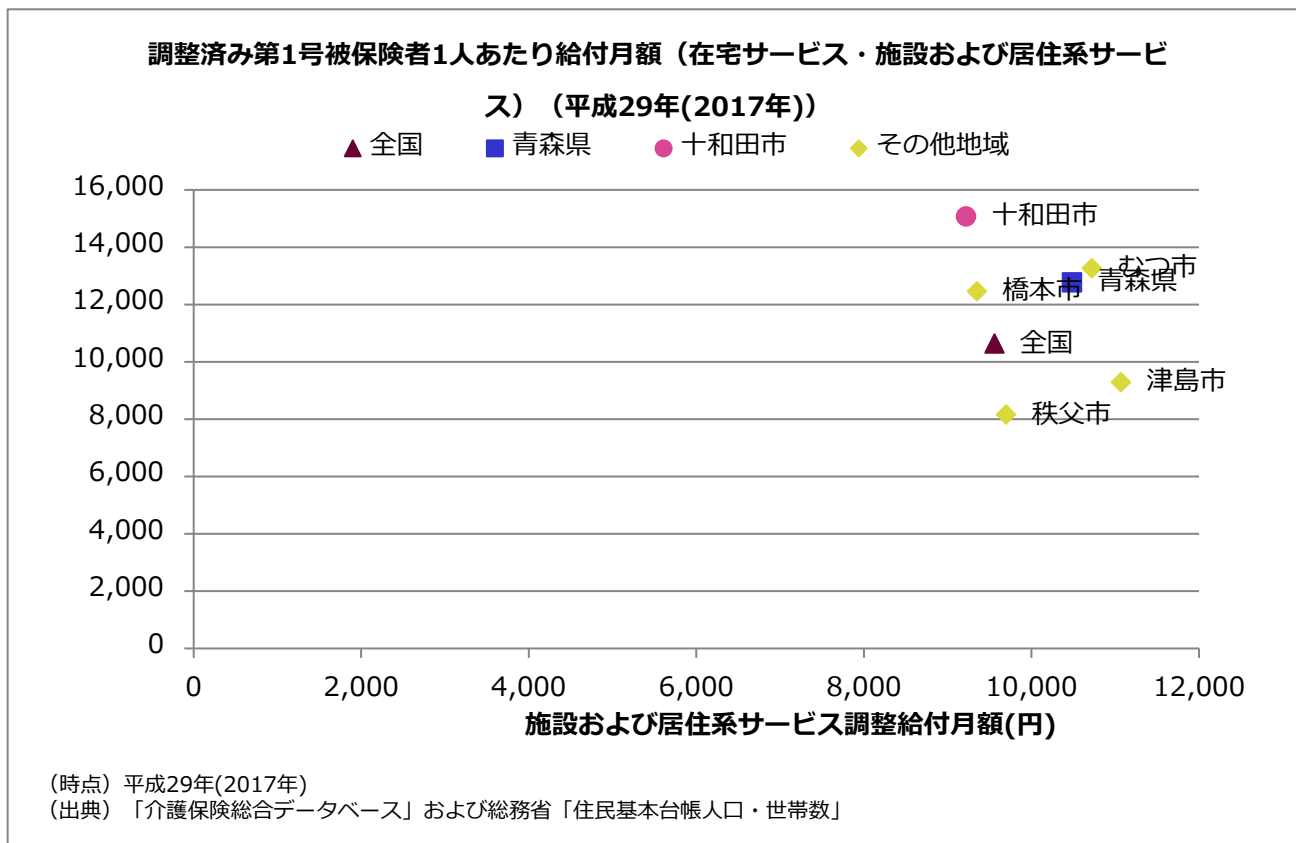
		平成 25 年 3 月末	平成 26 年 3 月末	平成 27 年 3 月末	平成 28 年 3 月末	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末時点
第1号被保険者数 （後期高齢者）	（人）	8,634	8,812	8,875	9,133	9,360	9,563	9,750
第1号被保険者数 （前期高齢者）	（人）	8,220	8,710	9,236	9,591	9,744	9,905	9,999
第1号被保険者数 計	（人）	16,854	17,522	18,111	18,724	19,104	19,468	19,749

第1号被保険者数を見ると、年々増加し、平成31年3月末と平成25年3月末を比較すると、2,895人増加しております。

また、平成31年3月末と平成25年3月と比較して、後期高齢者については、1,116人増加、前期高齢者は1,779人増加しております。

さらに、前年度増減について、平成27年3月末から平成31年3月時点を見ると、後期高齢者は、258人、227人、203人、187人と増加。また、前期高齢者は、355人、153人、161人、94人と増加し、徐々に増加人数が減少してきております。

## 5-2. 第1号被保険者1人あたり給付月額（サービス系別）



※「調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額」とは、給付費の多寡に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢構成」と「地域区分別単価」の影響を除外した給付月額を意味します。

		全国	青森県	十和田市	むつ市	津島市	秩父市	橋本市
在宅サービス	(円)	10,650	12,782	15,084	13,269	9,293	8,162	12,468
施設および居住系サービス	(円)	9,561	10,485	9,219	10,721	11,067	9,696	9,348

※在宅サービス…訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護（介護老人保健施設）、短期入所療養介護（介護療養型医療施設等）、福祉用具貸与、介護予防支援・居宅介護支援、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護

※施設および居住系サービス…介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護

平成29年（2017年）における調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（サービス系別）を見ると、本市は、全国と比較して、在宅サービスは4,434円高く、施設および居住系サービスは342円低くなっており、また、青森県と比較すると、在宅サービスは2,302円高く、施設および居住系サービスは1,266円低くなっており、

さらに、人口規模の類似団体と比較すると、本市は在宅サービスが最も高く、類似団体4市平均10,798円と比較して、4,286円高くなっており、施設および居住系サービスは、類似団体と比較して最も低く、類似団体4市平均10,208円と比較して、989円低くなっており、

## 6. まとめ

本市の特徴として、高齢化率に関しては、全国、県及び人口規模の類似団体と比較しても高い数値にある。また、時系列比較に関しても、全国及び県と比較して最も高い数値となっている。

認定率については、全国、県及び人口規模の類似団体と比較して合計認定率、要支援1，2については、低い数値にあるが、要介護2～5については、概ね高い状況にある。また、時系列比較に関しては、概ねどの区分においても平成27年3月末をピークに減少しており、特に要介護2が最も減少しているが、要介護3，4，5については、減少ポイントの変化が少ない状況となっている。

第1号被保険者数の時系列比較に関しては、年々増加しており、前期高齢者及び後期高齢者についていずれも年々増加しているが、平成27年3月末から平成31年3月末までの前年度増減を見ると、増加しているものの、年々増加人数が減少してきている。

第1号被保険者1人あたりの給付月額（サービス系列別）に関しては、本市は、全国、県と比較して在宅サービスは高く、施設および居住系サービスは低く。また、類似団体と比較しても同様に、在宅サービスは、最も高く、施設および居住系サービスは最も低くなっている。

当市の特徴の要因として考えられることは、要介護2～5までの認定率が高いことから、重度化してから認定を受ける傾向があるのではないかと考えられる。また、在宅サービスの第1号被保険者1人あたりの給付月額が高いことから、在宅での生活を希望する傾向が高いのではないかと考えられる。

したがって、今後においても、引き続き第7期十和田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、自立支援・重度化防止などの取組や介護給付費適正化の取組を進めていきます。